

今月のさがあお豆知識

No.65

何のためにレントゲンが必要なの？

見たり触ったりするだけでは分からない歯や歯ぐきの内部を確認することはとても大切なのです。

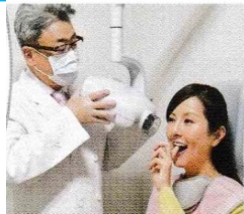
今回は、一般的によく使う「**デンタルX線**」と「**パノラマX線**」をご紹介します。

デンタルX線：2、3本の歯を写し出す方法

隠れたむし歯や歯を支えている歯槽骨など特定の範囲を細かく診られます

デンタルX線

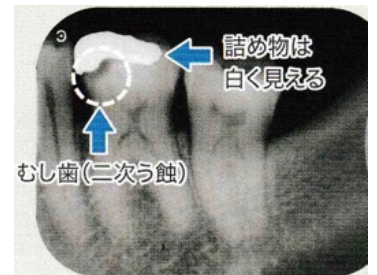
小さなフィルムを口の中に入れ外側からX線を当てて撮影



例えば...



詰め物の下や歯と歯の間など外からでは見えない部分のむし歯を発見できる。



パノラマX線：顎全体を写し出す方法

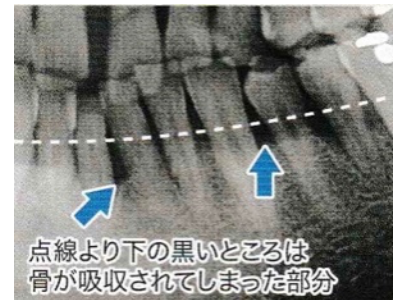
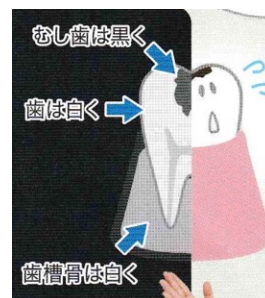
むし歯や歯周病を全体的に診たり親知らずや歯の生え変わり、骨の中の腫瘍や顎関節などをチェックします

パノラマX線

撮影装置が、頭の周りをぐるっと回って撮影



歯ぐきに隠れている歯石の付着など自覚症状が少ない歯周病の症状が分かる。症状が進行すると歯槽骨が破壊・吸収した様子も見る事ができる。



当院では症例に応じてCT撮影も行っています。

レントゲンでは、直接見られない部分を確認できることで適切なアドバイスや処置を行うことに役立っています。